

みんなで取り組もう！

エコ通勤

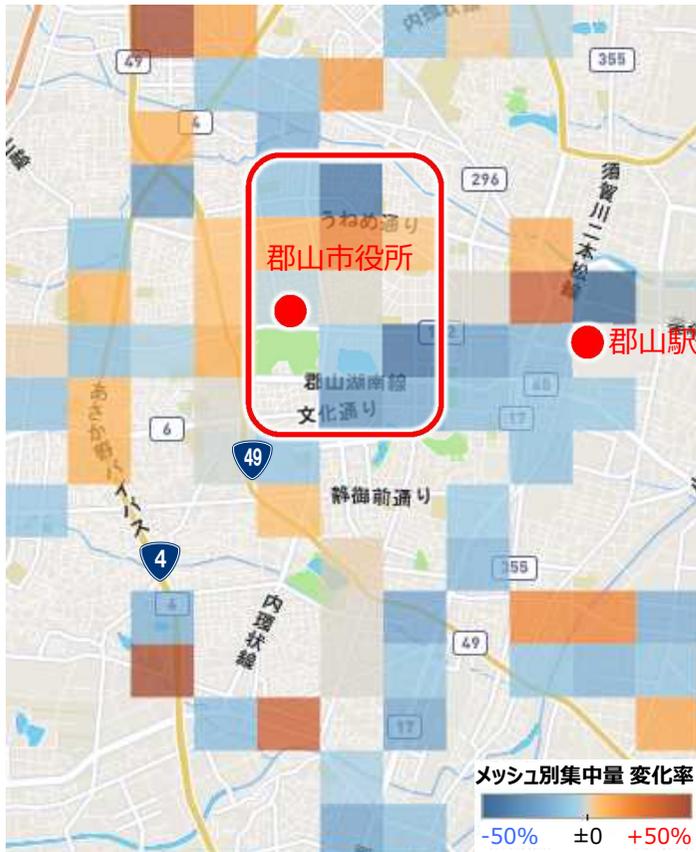


福島県渋滞対策連絡協議会 泉中・県南地区ワーキンググループ

(1) 緊急事態宣言期間中（R2年4～5月）の人流・交通量の整理

- 緊急事態宣言発令に伴う在宅勤務等の対策実施により、従業者数の多い郡山市役所、郡山駅周辺の**通勤移動が減少し、交通量も減少**。
 - 郡山駅周辺では、通勤移動の他、郡山駅利用や商業施設利用など様々な目的の移動が減少したと考えられる。一方、郡山市役所周辺では官公庁・事業所が集中しており、通勤移動の減少が大きく影響したと考えられる。
- ⇒通勤移動の減少により、交通量が減少し、速度が向上

▼通勤時間帯(8時台)の通勤者数*の増減率
(通常期とコロナ期の比較)



* 通勤者数とは、平日8時台の通勤時間帯に移動したユーザーをカウント
地図上では、500mメッシュ内に到着したユーザー数の増減率を表現

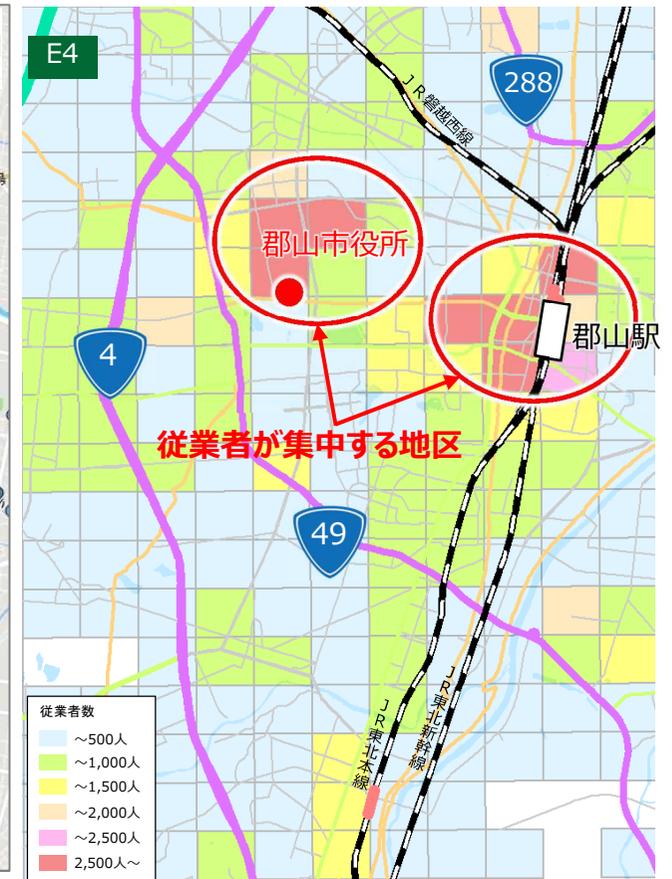
使用データ：ETC2. 0 走行履歴データ
コロナ期：R2.4~5 平日 8時台 小型車のみ
通常期：R1.4~5 平日 8時台 小型車のみ

▼通勤時間帯(8時台)の交通量の増減率
(通常期とコロナ期の比較)



使用データ：「断面交通量情報」（公益財団法人日本道路交通情報センター）
(<https://www.jartic.or.jp/service/opendata/>) を加工して作成
コロナ期：R2.4~5 平日 8時台
通常期：R1.4~5 平日 8時台

▼従業人口分布（500mメッシュ）



出典：経済センサス基礎調査（H26）

(2) 緊急事態宣言期間（R2年4～5月の渋滞状況の整理）

- 郡山市中心部では、緊急事態宣言期間中に通勤者数および交通量が減少していたことが交通分析結果から確認できた。
- 郡山市役所に近く、(都)内環状線(4車線)×うねめ通り(4車線)の幹線道路の交わる主要渋滞箇所「**並木1丁目交差点**」は、**通勤時間帯の交通量が3百台(約2割)減少し、1～6km/h速度が向上。旅行速度が20km/hを上回り渋滞解消の効果を確認。**

① 渋滞緩和を目指す主要渋滞箇所

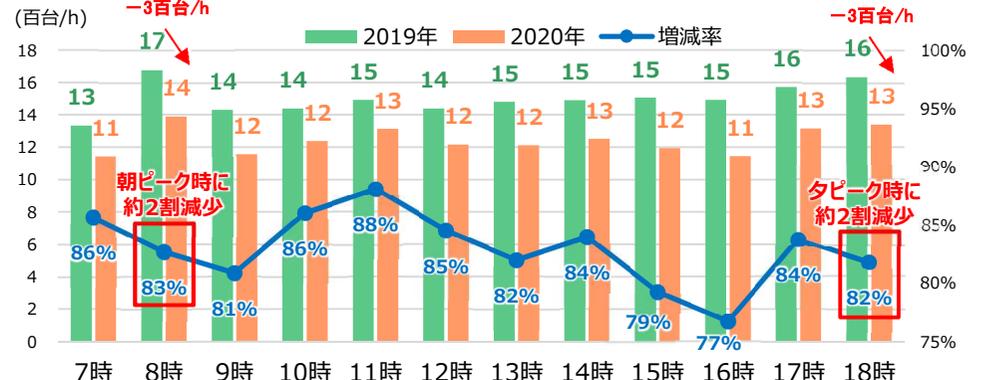
- ・ 並木1丁目交差点

② 実施対象

- ・ 郡山市役所をはじめ官公庁、従業者数の多い民間企業が集中するさくら通り～うねめ通り周辺エリア

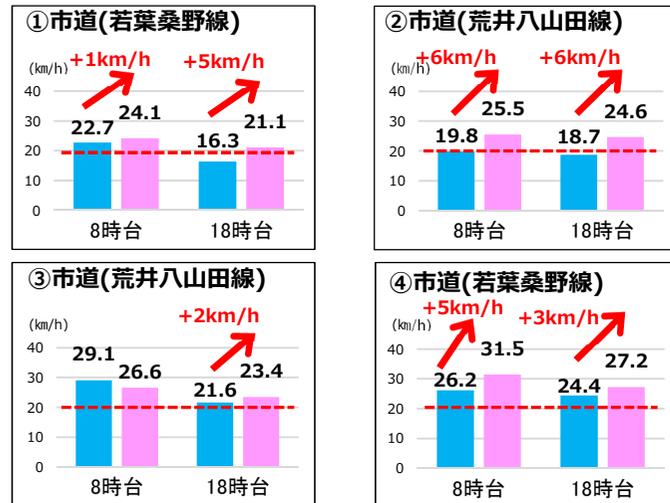


▼コロナ禍における並木一丁目交差点付近（うねめ通り上下合計）の交通量変化



出典：「断面交通量情報」（公益財団法人日本道路交通情報センター）
 (https://www.jartic.or.jp/service/opendata/) を加工して作成

▼並木一丁目交差点の流入速度



■ 緊急事態宣言期間前：R1.10 平日
 ■ 緊急事態宣言期間中：R2.4.17-5.14 平日

出典：ETC2.0データ
 緊急事態宣言期間前：R1.10 平日 8時台、18時台
 緊急事態宣言期間中：R2.4.17-5.14 平日 8時台、18時台

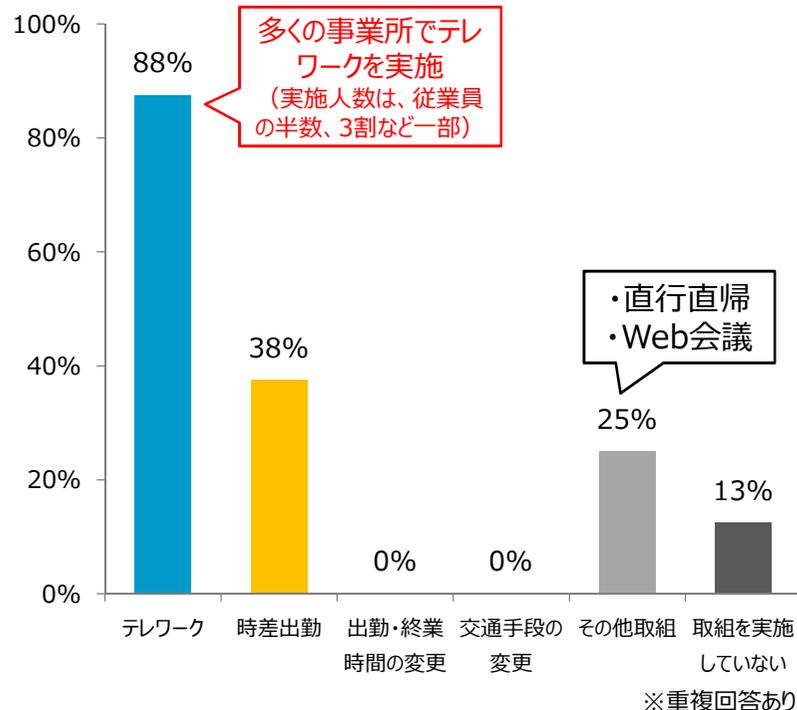
（3）エコ通勤施策検討に関するアンケート調査の実施

- 緊急事態宣言期間中に渋滞の解消がみられた並木1丁目の周辺の事業所を対象に、緊急事態宣言期間中に交通量が減少した要因の把握、各機関の通勤状況の把握を目的として、アンケート調査を実施。約9割の団体から回答を頂いた。
- 新型コロナウイルスの流行に対して取り組んだ内容は、「テレワーク」「時差出勤」が挙げられた。
- 今後の取組み予定として、約6割の事業所で「Web会議システムによる会議」が挙げられた。

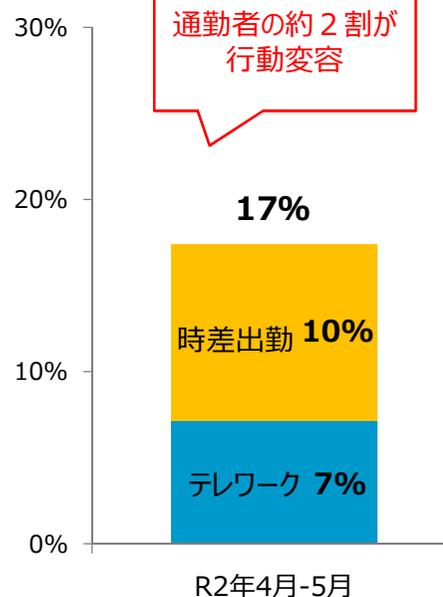
〈アンケートの概要〉

- 配布数：9団体(エリア内の官公庁、従業員の多い企業)
- 回答数：8団体（89%）（回答いただいた企業・団体の職員数：3,100人 アンケート実施期間：R3.1.21～2.5）

▼コロナ禍(R2.4~5)における取組み状況
(回答事業所のうち、取組み実施事業所の割合)



▼コロナ禍(R2.4~5)における取組み状況
(回答事業所全体の従業者数のうち、取組み実施従業者数の割合)



▼今後の取組み予定（回答抜粋）

＜事業所A＞

- ・在宅勤務を試行し、導入を検討中
- ・Web会議システム（導入、配備済み）

＜事業所B＞

- ・Web会議システムを導入し、対面による会議は、原則当面行わないこととしている

＜事業所C＞

- ・TV会議の継続

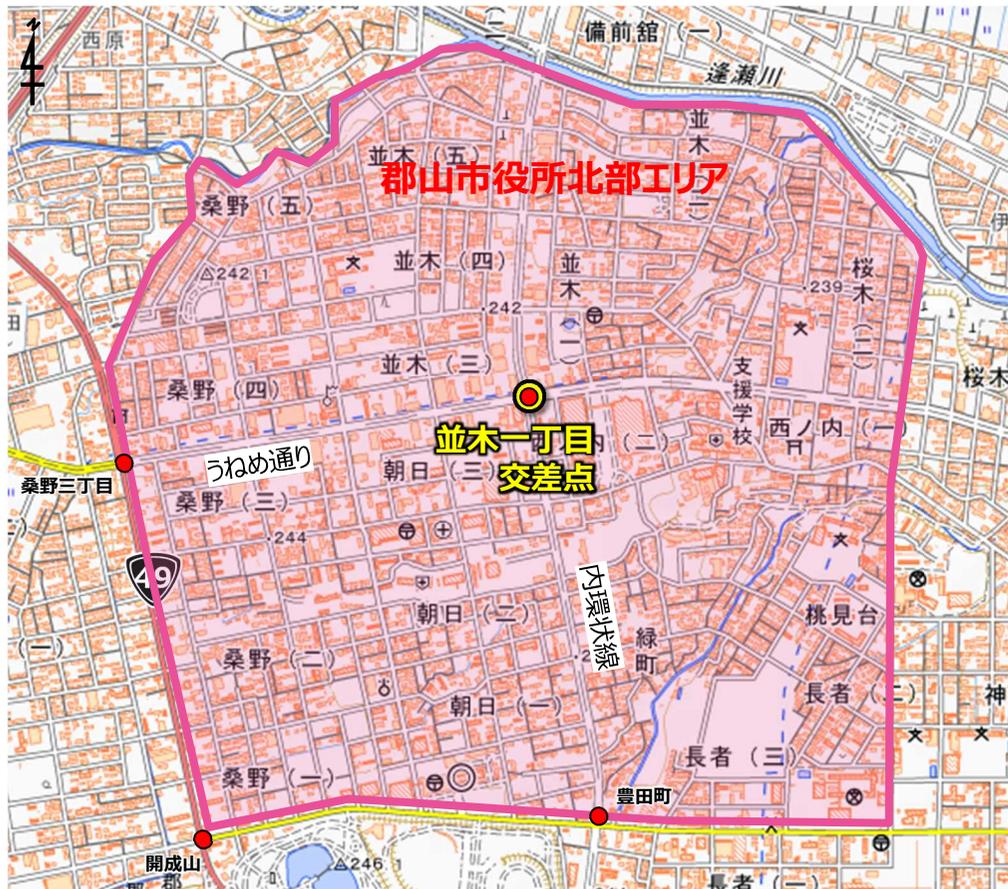
＜事業所D＞

- ・テレワークを継続実施中
- ・TV会議の継続

（1）エコ通勤施策対象エリア・エコ通勤施策実施内容

- 今年度進めるエコ通勤施策の対象エリア、施策の実施内容は以下の通りとする。

▼TDM施策対象エリア・主な事業所



- TDM施策対象エリア
- 主要渋滞箇所

▼TDM実施方針

<TDM施策対象エリア>

- 渋滞解消が見られた並木1丁目交差点を中心とした、さら通り～うねめ通り周辺エリアを「**TDM施策対象エリア**」と位置づける。

<TDM施策実施内容>

- 上記エリアを対象に、『在宅勤務』や『時差出勤』等の実施について、協力依頼・PR活動を行う。
- エリア内の団体には簡易アンケートを実施し、TDM施策への協力状況について確認を行う。

▼TDM施策メニュー（案）

	取組みメニュー	目的	主な効果
1	在宅勤務	ピーク時の自家用車交通量の削減	・渋滞緩和 ・CO ₂ 削減
2	時差出勤		
3	徒歩・自転車通勤の促進		
4	公共交通利用促進		
5	直行直帰		
6	Web会議		

（2）TDM施策の実施による渋滞緩和・環境改善の目標

- 郡山市では、「SDGs未来都市」への選定、「2050郡山市気候変動対策総合戦略」の策定など、都市環境改善に関する取り組みを進めている。
- 郡山市のCO2排出量を部門別にみると運輸部門が最も多いことから、**エコ通勤**は、これらの環境改善の取組に大きく寄与する取組である。

▼郡山市の都市環境改善に関する取組



＜参考：郡山市地球温暖化対策総合戦略(R3.3月)より抜粋＞

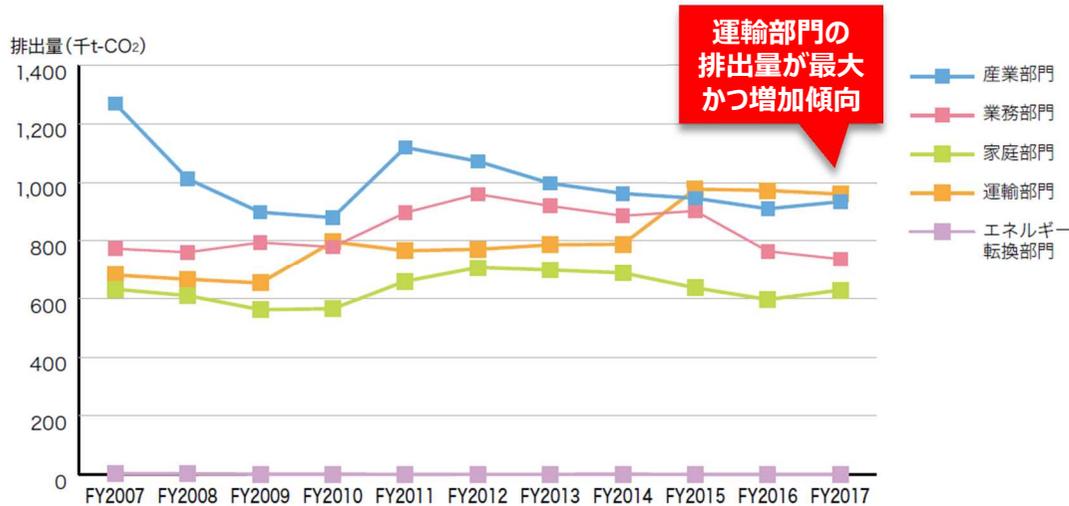
【取り組みの柱⑥】 地域環境の整備・発展による便利で快適なまち

地域交通の利便性・快適性を追求しつつ、自動車からの二酸化炭素排出の低減に向けて、公共交通の利用促進を図るとともに、自転車、徒歩等での移動を推進します。また、流通など都市機能の集約化により、移動等で消費されるエネルギー使用量の削減を図るとともに、二酸化炭素排出量の増加につながる交通渋滞の解消を図ります。さらに、都市緑化や身近な緑の保全による地域環境の整備を推進するとともに、環境保全型の林業や農業の振興を図ります。また、地域の脱炭素化の実現を目指したカーボンニュートラルなまちづくりを促進します。

【主な取り組み】

- **ヒートアイランド対策による都市の低炭素化**
都市公園や水辺のまどまりのある緑を保全し、河川や道路沿いの緑による「緑のネットワーク」を形成・維持するなど、都市形態の改善を図り、都市部における空調システムや自動車などの人間活動から排出される人工排熱の低減を図ります。
- **利用しやすい公共交通体系の構築**
地域住民や公共交通事業者等との協議のもと、路線バスの車両の小型化や運行頻度、デマンド型の乗合タクシーの導入等地域の実情やニーズに効率的な対応を図るとともに、環境にもやさしい交通体系を構築します。
- **公共交通や自転車・徒歩への転換を促すモビリティ・マネジメントの推進**
誰もが利用しやすい公共交通体系の構築とあわせて、安全で快適な自転車及び歩行空間の整備を図ることにより、自動車以外の移動手段も選択できる交通環境を整備します。
- **道路交通の円滑化**
交通渋滞の緩和、円滑な自動車の移動のため、幹線道路網の効率的な整備を推進します。また、自動車の駐車から公共交通への乗り換え（パークアンドライド）のための移動環境の向上を図ります。
- **次世代自動車の普及**
家庭や業務で使用する自動車を、ハイブリッド自動車（HV）、プラグインハイブリッド自動車（PHV）、クリーンディーゼル車、電気自動車（EV）、燃料電池自動車（FCV）等の次世代自動車へ更新していきます。
- **エコドライブの推進【再掲（P.48）】**
- **再配達削減**
宅配ボックスの整備や駅・コンビニ等での受け取りを推進し、宅配再配達の削減を図ります。
- **食品等の地産地消の推進**
地域で生産された農作物等については、積極的に地域内で利用していき、地産地消を推進します。
- **環境保全型農業の推進**
有機農業や化学肥料・化学合成農薬を原則5割以上低減する取り組みと合わせて行う地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い営農活動への支援を実施し、環境保全型農業を推進します。

▼ 郡山市のエネルギー起源二酸化炭素の分野別排出量の推移



※運輸部門：人・物の輸送・運搬に消費したエネルギーに関するもの

出典：郡山市地球温暖化対策総合戦略（R3.3月）より抜粋

（2）エコ通勤施策の実施による渋滞緩和・環境改善の目標

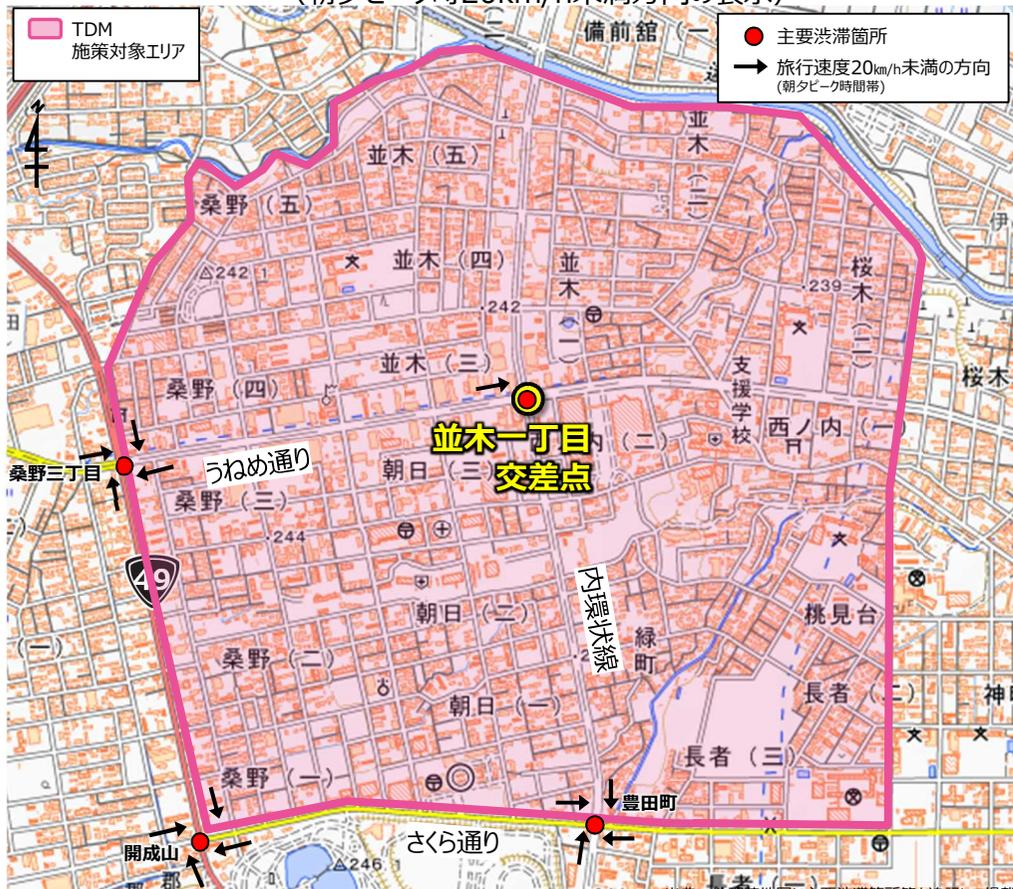
● “**エコ通勤（郡山市役所北部エリア）**”の実施により、以下の効果発現を目標とする。

TDM施策の目標

- ① TDMの実施によりピーク時交通量15%削減を目指し、1日あたり自家用車通勤の従業員の15%がTDMを実施することを実施目標とする
- ② ピーク時交通量の削減により、エリア内主要渋滞箇所のピーク時速度20km/h以上への向上を目指す

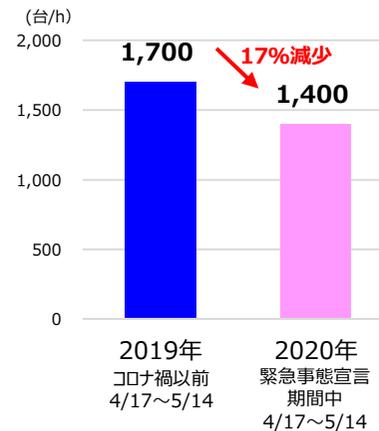
⇒渋滞緩和により、**都市の交通環境の改善、CO2排出量削減による都市環境の改善効果が期待される。**

▼郡山市中心部のコロナ禍以前の主要渋滞箇所の状況
(朝夕ピーク時20km/h未満方向の表示)



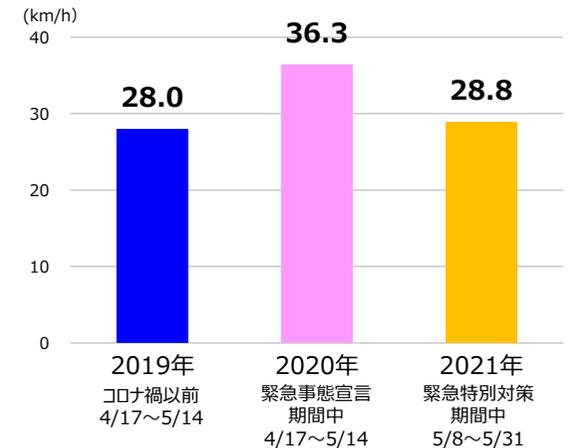
出典：地理院地図に主要渋滞箇所等を追記して掲載
交差点方向別速度：ETC2.0データ速報値（R3.4月（平日朝夕ピーク時））

▼コロナ禍における並木一丁目交差点付近(うねめ通り上下合計)の交通量変化



出典：「断面交通量情報」（公益財団法人日本道路交通情報センター <https://www.jartic.or.jp/service/opendata/>）を加工して作成(平日8時台)

▼緊急事態宣言期間中の郡山市DID地区内平均速度比較



出典：ETC2.0データ(平日8時台)

▼旅行速度とCO2の関係

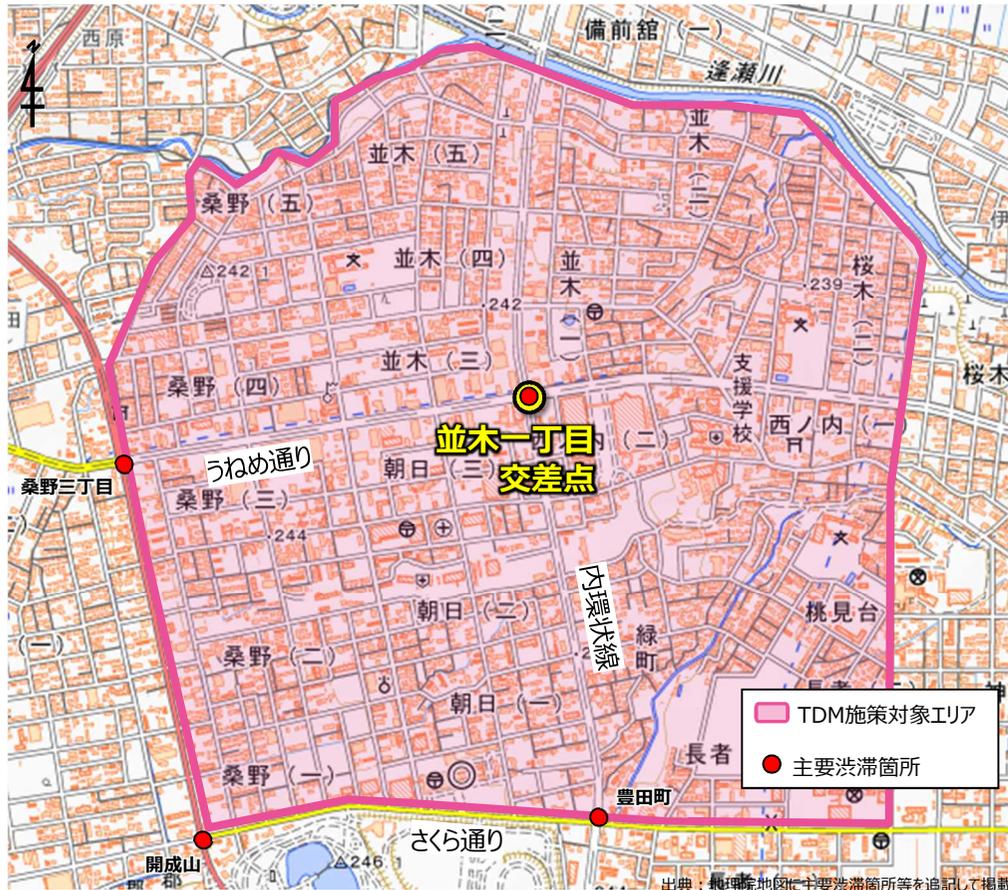


出典：国土技術政策総合研究所資料 第671号「道路環境影響評価等に用いる自動車排出係数の算定根拠（平成22年度版）」
※小型車の排出原単位を炭素換算して算出

(3) エコ通勤施策実施方法

- TDM施策の名称を“**エコ通勤（郡山市役所北部エリア）**”とし、渋滞緩和だけではなく都市の環境改善の効果についても打ち出す。
- エコ通勤施策の対象エリア内の企業・団体を対象に、「エコ通勤への協力依頼」を行う。
- 協力依頼については、「直接訪問による呼びかけ」、「チラシ・ポスターの作成・配布」等を実施する。

▼TDM施策対象エリア・主な事業所



▼チラシ・ポスターの作成・配布（イメージ）

▼各種広告媒体での広報（案）

項目	方法
チラシ配布	・関係機関、エリア内事業所への配布
ポスター掲示	・行政機関、交通拠点等に掲示を依頼
テレビ	例) 郡山市週間トピックス（毎週放送：5分番組）
ラジオ	例) どれみふぁそラジオ郡山（毎週木曜日放送）／ふくしまFM 例) 楽都郡山インフォメーション（毎週金曜日放送）／ココラジ 例) 郡山市民ニュース（毎週土曜日放送）／ラジオふくしま
You Tube	例) 県中建設チャンネル「ケンチューブ」

<TDMへの協力依頼>

- エリア内の従業員の多い事業所については、**直接訪問**しTDM施策への協力を依頼する。

（4）エコ通勤施策実施期間

- 令和3年10月4日（月）～同年10月29日（金）の4週間のうち、**毎週月曜日、金曜日**を「**エコ通勤実施日**」とすることを提案する。
- 「直接訪問による呼びかけ」を行った企業・団体を対象に、週1回の簡易アンケートを行い、エコ通勤への協力状況について把握する。
- 交通量、旅行速度の変化については、毎日最新データを整理し、最新の交通状況を把握する。

